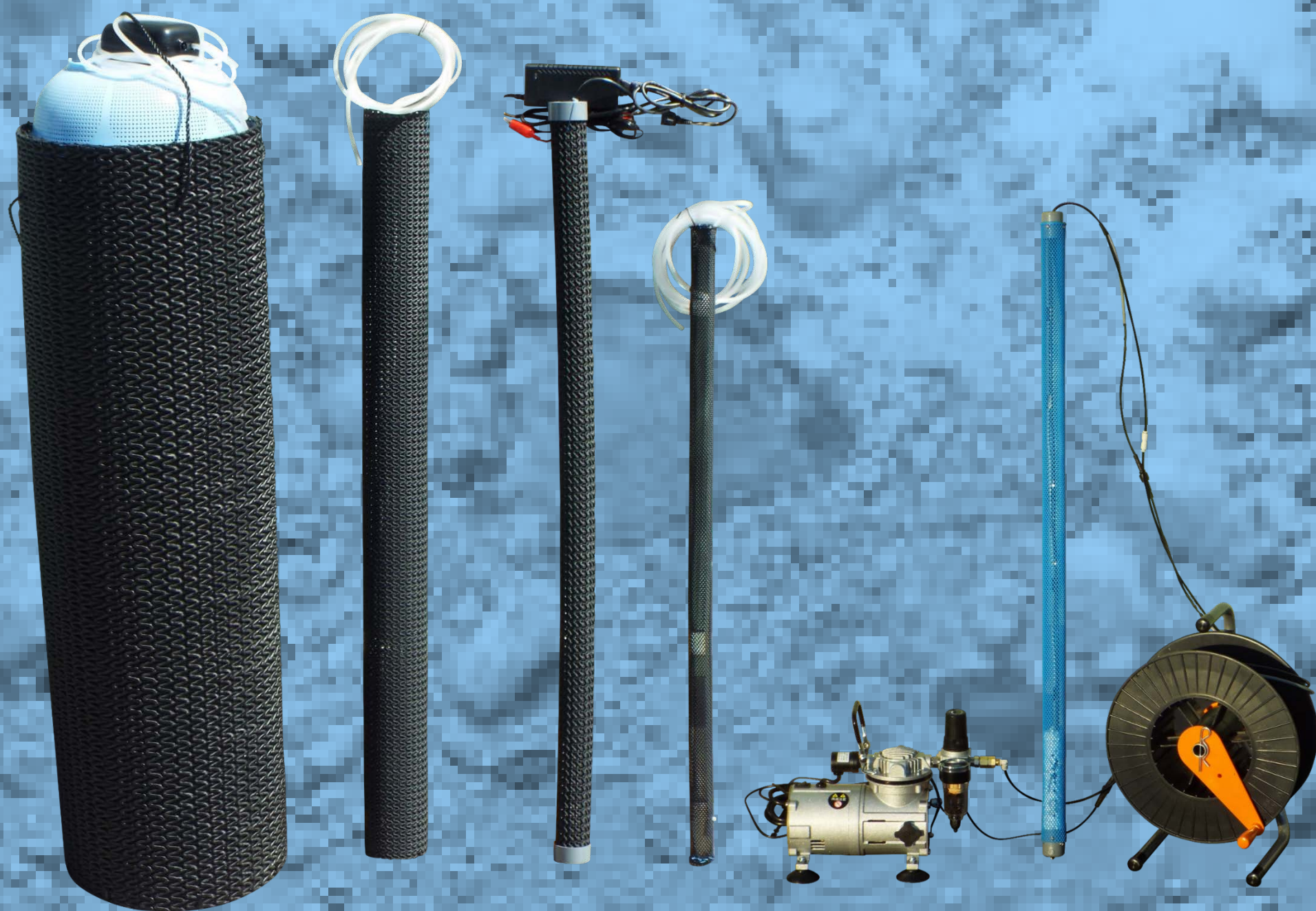


Kiso-バイオネットパイプ

微生物固定化担体を使った原位置簡易水質浄化装置



Kiso-バイオネットパイプ

(特願 2020-029275)

微生物固定化担体を使った原位置簡易水質浄化装置

原位置水質浄化装置は、微生物固定化担体を使った油分などの有機物を含む地下水やタンク貯留水等の水質を浄化する装置です。

〔利用場所〕

- ・油分による地下水が汚染されたガソリンスタンドや油送所等
- ・有機物等により地下水が汚染された土地等
- ・汚濁水の貯留タンク施設等
- ・小規模な汚濁水域等

〔特 徴〕

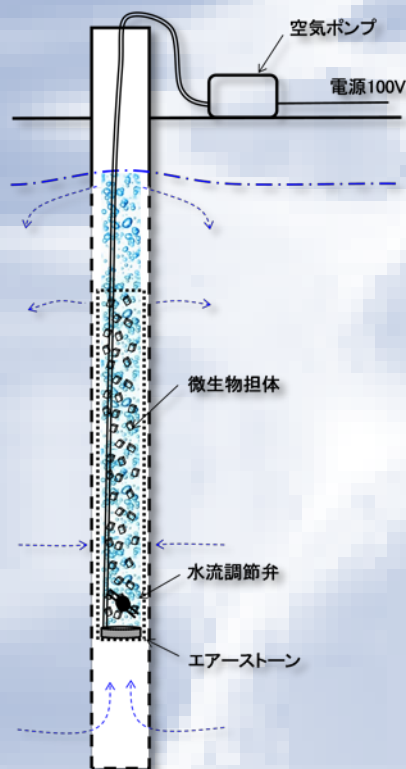
- ① 微生物固定化担体の入った透水管を浄化対象水に水没させて、エアレーションあるいは水中ポンプ等で水流を発生させることにより、水中を浮遊した多孔質担体内に分解微生物が棲みつки、水質の浄化を促進します。
- ② 浄化対象容積に応じて、さまざまな大きさの浄化装置を製作することができます。
- ③ 浄化装置は、吊り下げるだけで簡単に設置できます。
- ④ 微生物固定化担体は、水の比重とほぼ同じなので、少ないエネルギーで水中を浮遊するため、汚染水に接触しやすく、効果的に浄化が進行します。
- ⑤ 微生物固定化担体にバイオフィーム等が付着し水より比重が重くなり浮遊しなったら、装置を引き上げて、内部の微生物固定化担体の交換が簡単にできます。



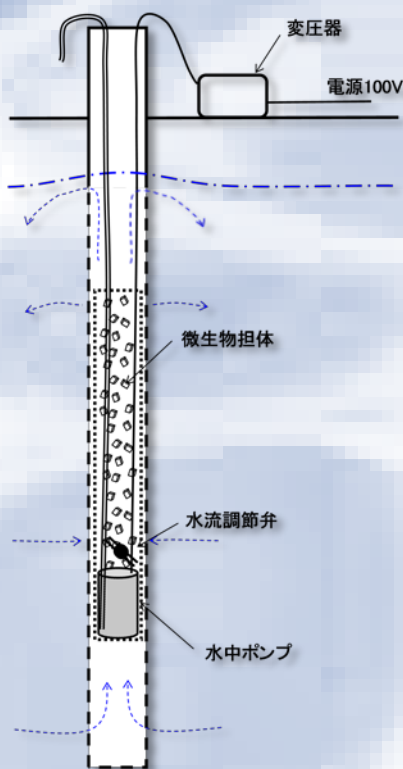
原位置簡易水質浄化装置

微生物固定化担体
(多孔質 PVA スポンジ)

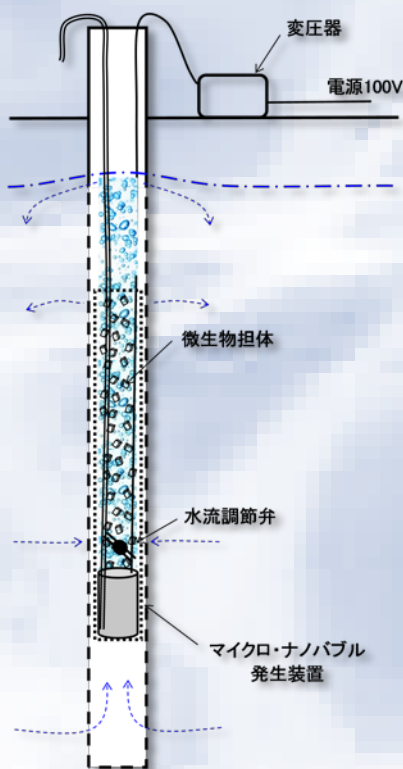
水流で浮遊する微生物固定化担体



エアーストーンの場合

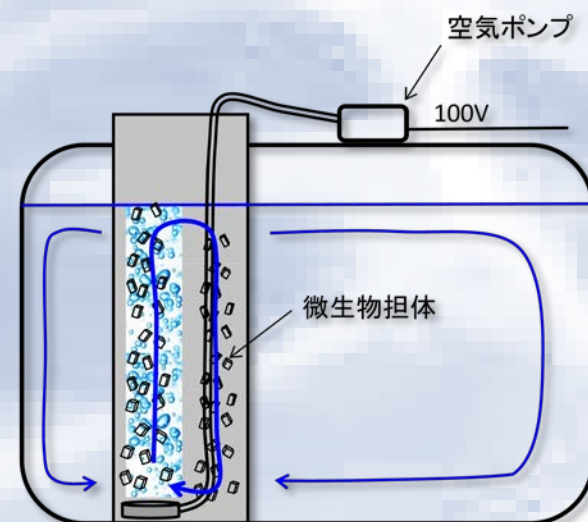


水中ポンプの場合



マイクロ・ナノバブル発生装置の場合

ボーリング孔内の原位置地下水浄化



タンク貯留水の水質浄化

